

## インド版「判断基準 (EC Guideline)」策定を支援しています。

### 【事業概要】

インドは、産業部門における省エネルギー推進の為の政策として、日本で実績のある「判断基準」の導入を計画しています。一般財団法人省エネルギーセンター (ECCJ) は、経済産業省の委託を受けて、5月に実施された日印省エネルギーWGでの合意に基づき、インド版「判断基準 (EC Guideline)」の策定を支援しています。



Steering Committee 会議の様子



Interactive Session の様子



受入研修の様子



受入研修グループ討議の様子



受入研修集合写真

インドは産業部門に EC Guideline を導入する為、インドエネルギー効率局 (BEE) の下に Steering Committee を組織し、インド版「判断基準 (EC Guideline)」策定作業を実施中です。ECCJ は、インドの EC Guideline 策定を支援するため、2017年度事業として以下の活動を実施しました。

(1) 2017年9月21日、Steering Committee 初回会議への専門家派遣

インド商工会議所連合会 (FICCI)、インド標準局 (BSI)、インド中央電力庁 (CEA) 他産業団体からの代表を委員とする Steering Committee の第一回の会議が開催され、ECCJ から専門家を派遣し、オブザーバーとして参加しました。

(2) 2017年11月24日、Interactive Session への専門家派遣

インド版「判断基準 (EC Guideline)」の導入について、広く一般企業、産業団体の意見を聴取するため BEE 主催により Interactive Session on Draft Energy Conservation Guideline が、ニューデリーの Hotel Claridges で開催されました。ECCJ は、オブザーバーとして参加し、日本の判断基準の概要について説明しました。

(3) 2018年1月15-19日、日本における受入研修

インド版「判断基準 (EC Guideline)」のワーキングドラフトを日本の専門家を入れてレビューをする為、日本でワークショップを開催しました。インド省エネルギー局 (BEE)、産業関連団体及びインド産業界を代表する民間企業のエネルギー管理専門家 (計17名) が参加し、日本の専門家を交えて活発な議論が交わされました。

(4) 2018年2月26日、Round Table Discussion への専門家派遣

日本でのワークショップの結果を反映して修正されたインド版「判断基準 (EC Guideline)」のワーキングドラフトに関して企業、産業団体等の意見を聴取するため BEE 主催により Round Table Discussion on Draft Energy Conservation Guideline がニューデリーの India Habitat Centre 開催され、ECCJ から専門家を派遣し、日本の判断基準の概要説明と1月の日本における受入研修の内容についての報告を行いました。